

NPO 通信



‘10前期 講座スタート！ 延べ申し込み者数3000人を超えました！

いよいよ2010年度前期の講座が開講しました。4月9日(金)、プラザで開講式が行われ、引き続き「地球と人類の未来を考える」と題した柴田鉄治先生の記念講演がありました。

今期は、たくさんの受講申し込みがあり、延べ受講者数は3000人を突破しました。定員超過のため抽選の講座も多く、抽選に外れた方にはご迷惑をおかけしました。「新規受講生説明会」にお越し頂いた方の多くが新しい仲間となり、アカデミーはますますパワーアップしています。

これから初めてアカデミーの講座を受ける方、すっかり生活の一部になっている方、少しずつ楽しんでこられている方、それぞれがそれぞれの生活にあった関わり方で、アカデミーを楽しむことができれば、最高ですね。いよいよ今年はNPO独立に向け正念場の1年となります。ますますのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

定員超過のため抽選のあった講座

- ・日本史
- ・いのちの科学
- ・みどり学Ⅰ
- ・みどり学Ⅱ
- ・自然(川崎学)

定員超過のため抽選のあったWS

- ・美術
- ・まち歩き(川崎学)
- ・芸術WS
- ・カウンセリング
- ・みどり学Ⅱ



深 謝

講座を企画から、徹底検討！

それぞれの講座で、世話人の方々からコーディネーターの先生と協力し、アンケートを実施し、検討を重ね、素晴らしい講座が企画、誕生しました。

受講生の企画から、生まれた講座および新しく変化した講座エクセレントⅡ、自然(川崎学)は、多くの受講生を集めました。すでに後期の企画、検討も始まっています。

広報活動報告

- ☆「募集案内チラシ」のレイアウト改善
- ☆「新規受講生説明会開催の案内」を日経新聞に9000部折込み
- ☆タウン情報誌「くらしの窓」に案内掲載
- ☆「新規受講生説明会」を3ヶ所5回実施し、約100名参加
- ☆市行政関連部署と企業に「募集案内チラシ」の配布(1000部)
- ☆各区の市民館配布の「募集案内チラシ」の展示状況チェックと補充
- ☆市政だよりにより追加募集掲載→ステップアップ講座を中心に応募増
- ☆川崎市以外に「募集案内チラシ」を配布：横浜・大岡山・西大井・稲城
- ☆受講生の皆さんによる「募集案内チラシ」個人配布の協力(2510部)
- ☆それぞれの講座の世話人による個別チラシ作成、口コミ、口説き作戦！

世話人、広報部、理事を中心に様々な広報活動を行いました。受講生の皆さまご協力ありがとうございました。

Spring

アカデミーQ&A その3

Q：講座・WS検討プロジェクトとは何ですか？（WS：ワークショップ）

A：各講座・WSの現状把握をし、問題点を検討する目的で平成21年2月に発足して、毎月担当理事と受講生代表が討議を行い問題の解決に取り組んでいます。2009年10月には「講座・WSの運営についての第一次答申」を理事会に報告し承認されました。

その内容は

①「(2010年前期以降の)講座・WSの運営ルール」を決定しました。「NPO通信第8号」(2009年11月号)に掲載しました。

②「世話人、特に世話人代表候補の探索と選出についての指針」を作成しました。

《世話人代表、世話人の後継者作りは次の事を念頭に置いて日頃、育成・募集に努める》

- ・講座開講時に運営法に関する説明を行い、協力を求める
- ・世話人代表・世話人の判り易い役割分担表を作り、世話人の仕事を理解してもらうよう努める
- ・アンケートを実施し、受講生ニーズの吸上げに努め、積極的に活用していく
- ・副代表制を導入し、組織を重層化し、世話人代表の引き継ぎをする
- ・理事兼務の世話人代表は2年をめどに専任の代表世話人へ引き継ぐ
- ・世話人代表はコーディネーターの先生と連携をとりカリキュラムに受講生の要望を活かすよう努める

③「講座・WS担当理事、世話人代表、世話人の機能分担の明確化」をしました。

- ・世話人代表は講座・WSの運営の主体であり、世話人は世話人代表を補佐する
- ・講座・WSの責任者は担当理事であり、代表世話人は責任を負わない
- ・担当理事は原則的に担当講座・WSを受講する。(実際はカバーする理事が不足しているため担当理事の受講しない講座・WSがある)

◎現在は23年度以後の会員制度、エクセレント、現代事情の企画案などについて討議しています。

理事会報告（定例理事会は2ヶ月に一度開催されています。詳細は議事録をご覧ください。）

「第8回理事会」平成22年2月17日(水)午後3:30～6:40

議事 4/1より事務局員1名(大宮司 祐美)採用

議題 1、新中期経営計画について・・・「NPO通信 5月号」で詳細を報告します

2、研修生(インターシップ)受け入れについて・・・KSコミュニティー・ビジネス・アカデミーより、研修生の受け入れについての検討し、承認された

3、印刷機のリースについて・・・事務局長より新しい機種のリースの説明と承認。

4、NPO新情報管理システム導入に伴う機器購入について・・・購入と設置場所が承認された

5、かわさき市民アカデミー運営協議会公募委員選考者の推薦について・・・選考日3/12

他報告事項

主な報告 ・新規受講生募集説明会実施報告・学長・副学長候補等の推薦について

・2010年開講式について、市民活動フェア報告・広報部活動報告(企業訪問状況)

・台風等緊急時における対応基準について、評議員より理事会の効率化についての提案

・平成22年度1月度「特定非営利活動に係る事業会計」収支決算について

・サポーター制度について、受講生のつどい(2/22)について など17項目について

【編集後記】 最近のニュースから。長野県では、病院がイベントや講座を運営しており、平均寿命は男性1位、女性5位。生涯学習が、生きがいとして役割の大きさを物語っています。新しい年度が始まりました。述べ3000人の受講生の新しい学びが、健康と笑顔につながりますように。次号からは、今回載せられなかった受講生の声などを載せていく予定です。5月号からは、編集委員が交替します。お付き合いいただきありがとうございました。

編集責任者：林 朋子 田辺 初子